

## S21T 日本語ユーザーズガイド

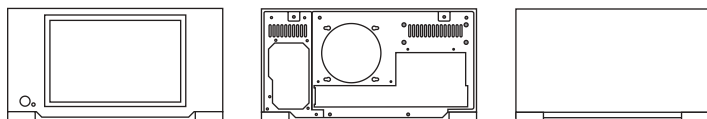
この度はOrigen<sup>ae</sup>のHTPCエンクロージャー「S21T」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。インストール作業の方法や各部の名称・仕様等を本ユーザーズガイドにて解説致しますので製品をご使用される際には必ずお読み下さるようお願い申し上げます。

尚、本ユーザーズガイドに記載されていない事項、および追加の注意事項などが発生した場合は下記URLにて都度掲載させていただきますので、お問い合わせの前にご参照頂くようお願い申し上げます。

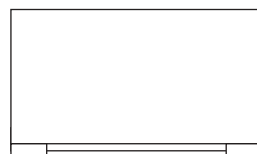
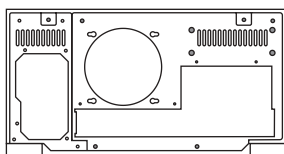
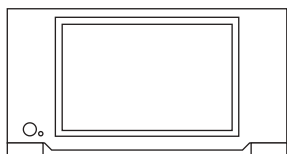
※日本国内サポートURL <http://www.scythe.co.jp/support.html>

### index

S21T仕様	2
S21T各部の名称	2-3
ケースの開け方	3
マザーボードトレイを引き出す	3
マイクロATXマザーボード使用時の注意	4
VGAコネクタブラケット/VGAループケーブルの接続	4
光学ドライブの取付け方法	5
光学ドライブ用ベゼルの取付けについて	5
光学ドライブ用ベゼルにステッカーを貼る	5
ハードディスクドライブ(HDD)の取付け方法	6
ハードディスクドライブ(HDD)の搭載に関する設定	6
PCBモジュールのリファレンスダイヤグラム	7
液晶モニターの仕様とメニュー操作	7
モニター設定メニューの解説	8
モニター用各ボタンの解説	8
カードリーダーおよびI/Oパネルについて	9
タッチパネルソフトウェアのインストール	9-10

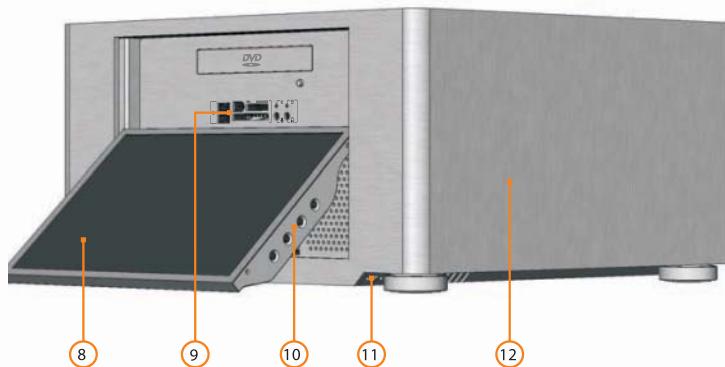
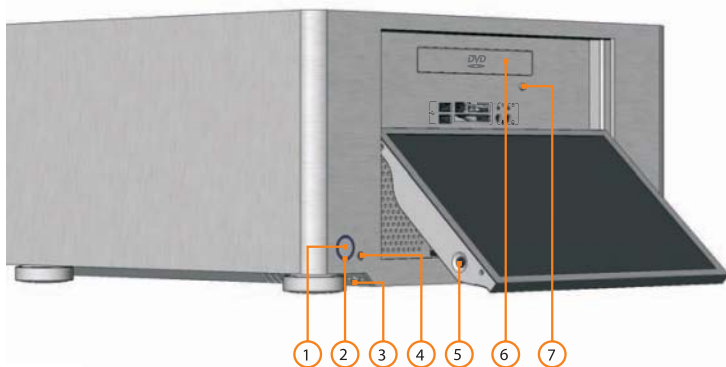


## S21T仕様

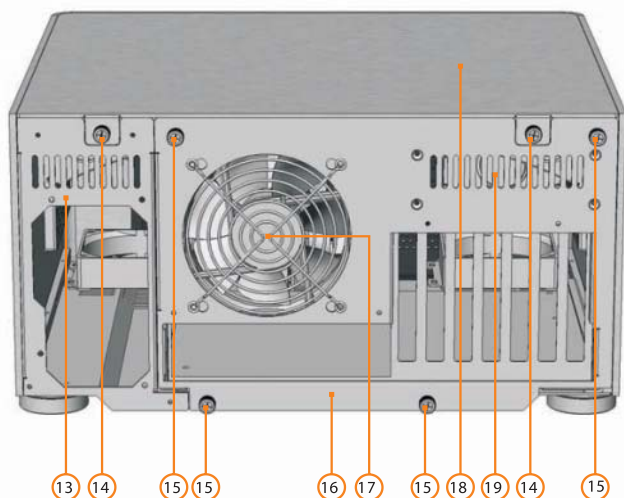


筐体サイズ	幅435×高さ224×奥行き390mm
筐体素材	オールアルミ製
対応マザーボード	ATX、マイクロATX(BTX非対応)
対応電源	ATX電源
対応グラフィックカード	フルサイズ対応
ドライブベイ	5インチベイ×1個 3.5インチベイ×10個（内蔵専用）
搭載ファン	リア部：静音12cm×1個搭載済 底面部：静音9cm×2個搭載済
拡張スロット（背面）	7本
I/Oコネクタ	USB2.0×2個、IEEE1394×1個、 オーディオin/out各1（HD&AC97） マルチカードリーダー×1
IRサポート	マイクロソフト IR MCE対応
重量	9.8kg
カラーバリエーション	ブラック、シルバー
液晶モニター仕様	12.1インチワイド(アスペクト比16:10) 標準解像度1280×800 仮想最大解像度1920×1080 入カコネクタD-sub15ピン DC12V入力、消費電力9W

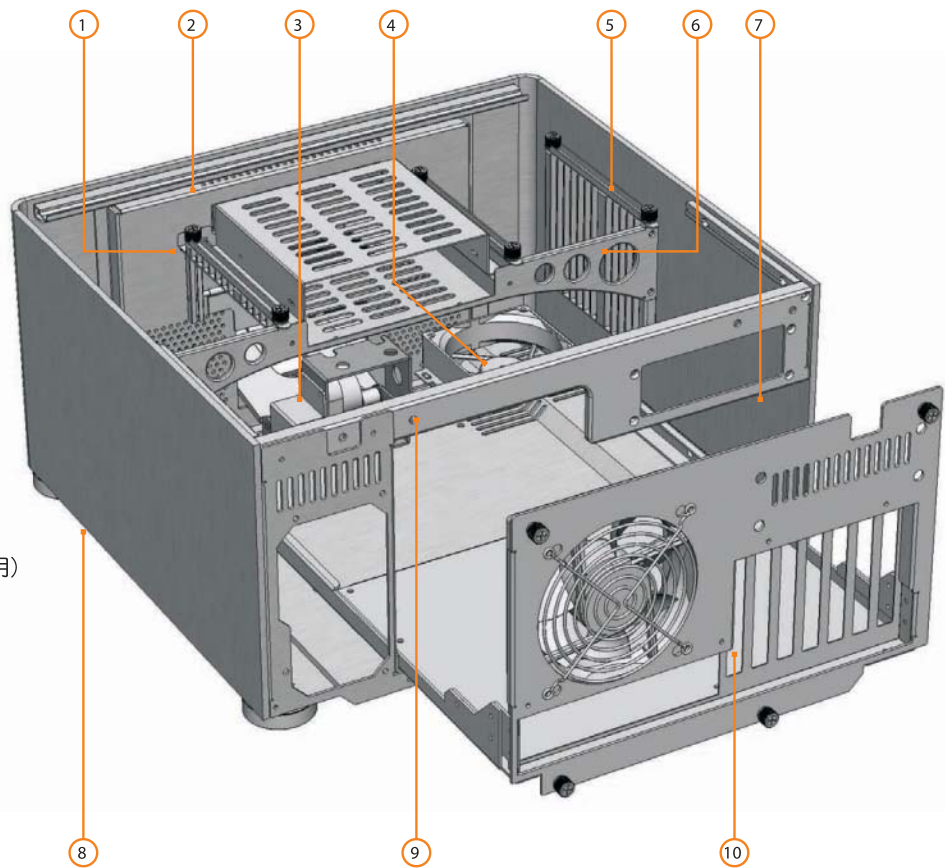
## S21T各部の名称



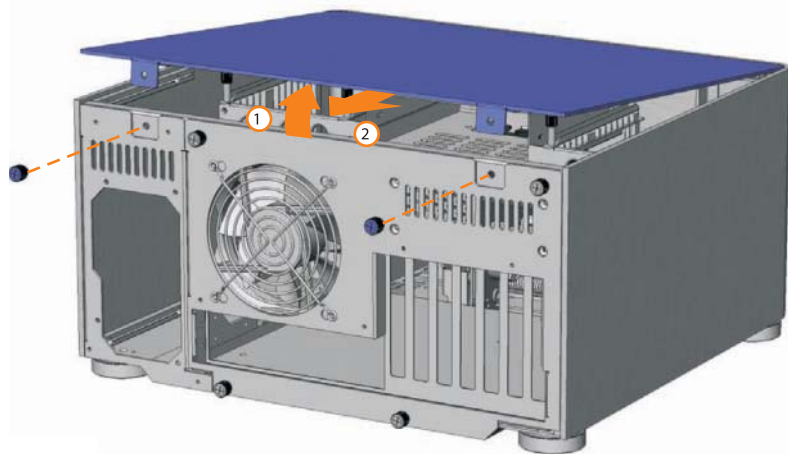
- 1- 電源スイッチ
- 2- パワーLED
- 3- 液晶モニター用電源
- 4- IRデバイス受信部
- 5- 液晶用タッチペン
- 6- 光学ドライブ
- 7- 光学ドライブ用トレイ開閉ボタン
- 8- 12.1インチタッチスクリーン対応液晶モニター
- 9- I/Oコネクタおよびマルチカードリーダー
- 10- 液晶モニター用各種コントロールボタン
- 11- 液晶モニター開閉ボタン
- 12- アルミ製筐体
- 13- 電源搭載用ブラケット
- 14- トップカバー（天板）固定用ネジ
- 15- マザーボードトレイ固定用ネジ
- 16- 引出し型マザーボードトレイ
- 17- 静音12cmファン
- 18- トップカバー（天板）
- 19- 通気口



## S21T各部の名称



- 1- HDD固定用ガイド
- 2- 5インチベイ (光学ドライブ専用)
- 3- 液晶動作用モーター部
- 4- 静音9cmファン
- 5- HDD搭載用ブラケット
- 6- ドライブベイ保持用フレーム
- 7- 通気口
- 8- アルミ製筐体
- 9- 筐体後部
- 10- マザーボードトレイ

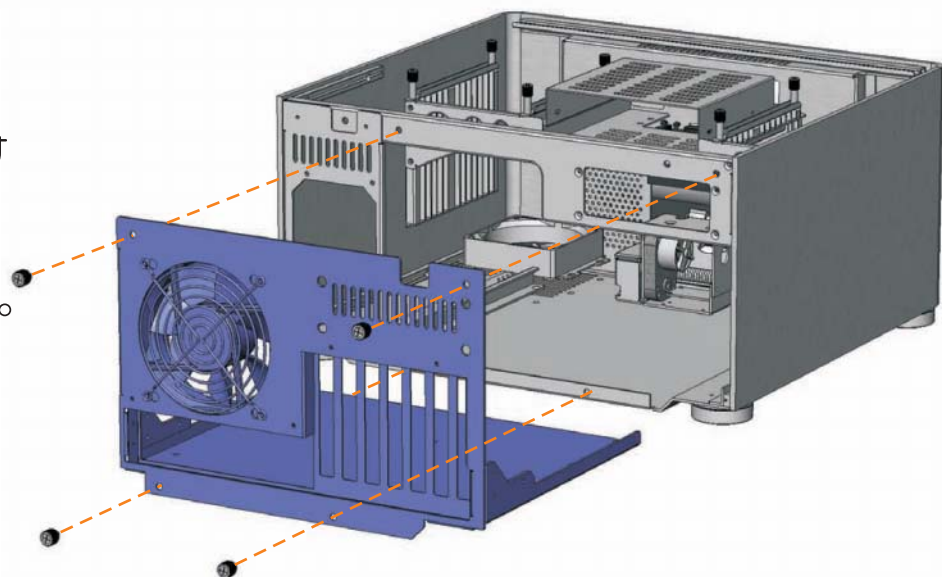


### ケースの開け方

左図を参照し筐体後部にある、トップカバーを固定しているネジ2つを外して下さい。  
 トップカバーは後部を一度持ち上げてから後方にスライドさせて開きます。

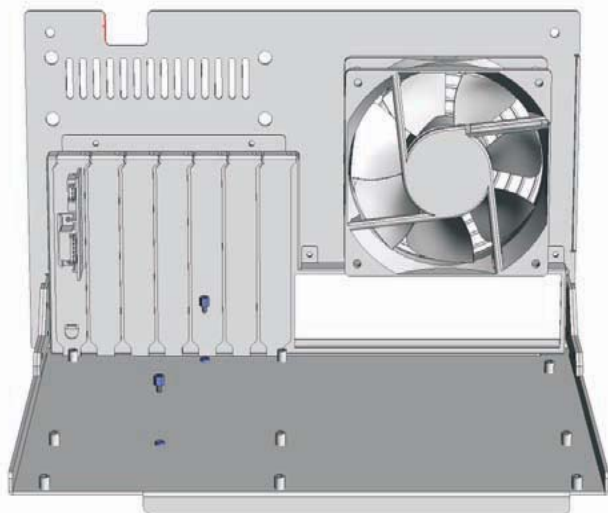
### マザーボードトレイを引き出す

右図を参照し筐体後部にあるマザーボードトレイを固定しているネジ4つを外して下さい。  
 次にマザーボードトレイをそのまま後方に引き出します。



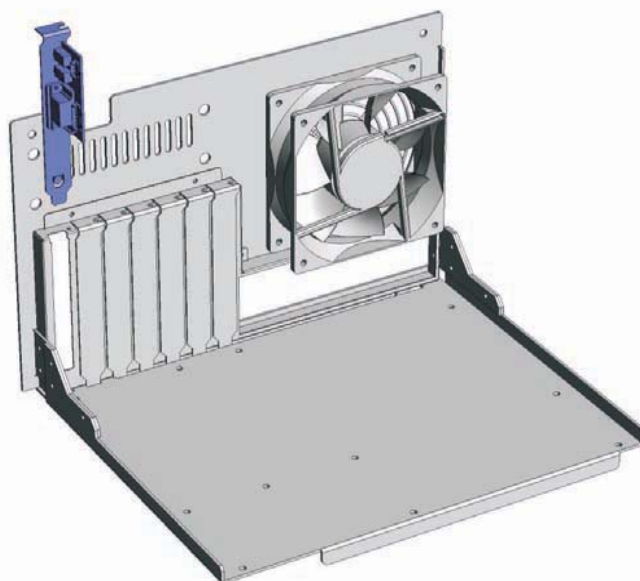
## マイクロATXマザーボード使用時の注意

マイクロATXマザーボードを使用される場合は右図を参照しマザーボードトレイ上のスタンドオフ（ネジ受け）2本を抜いて下さい。通常のATXマザーボードを使用される場合はこの作業は不要です。



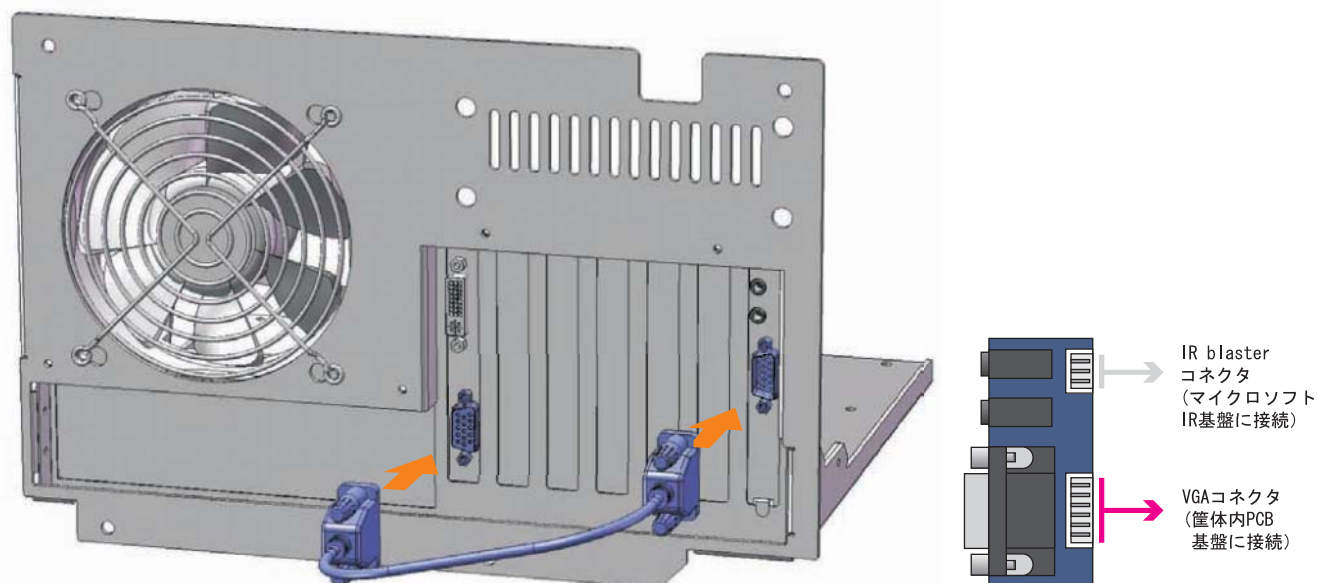
## VGAコネクタブラケットの接続

右図を参照しVGAコネクタブラケットを任意の拡張スロットに固定して下さい。



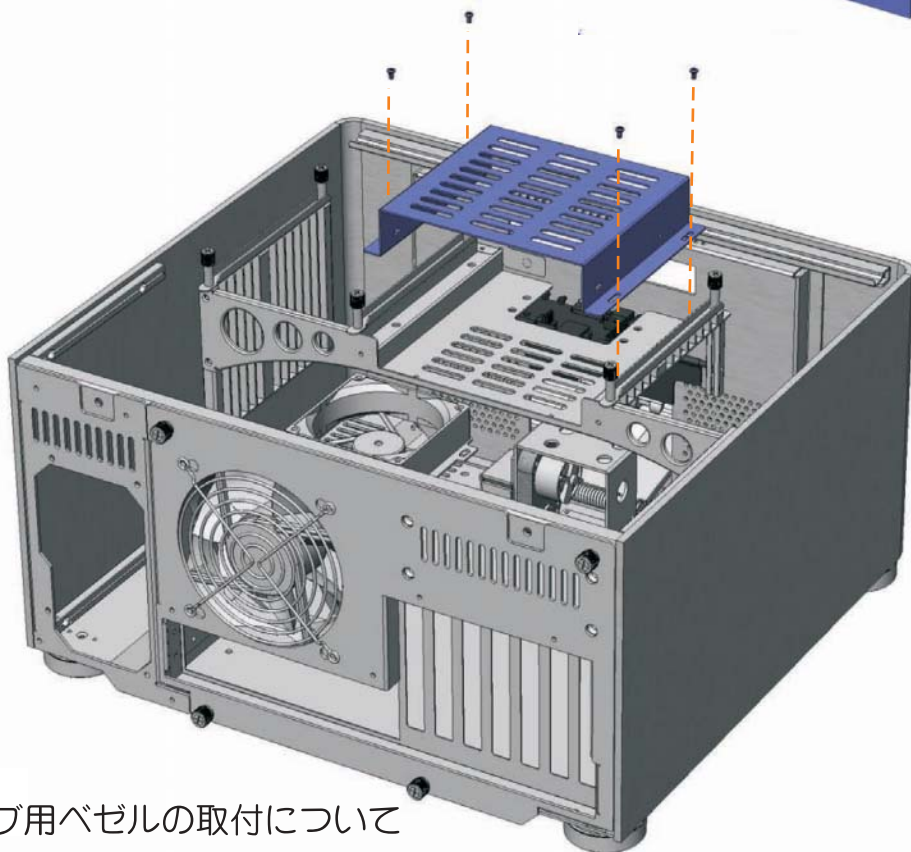
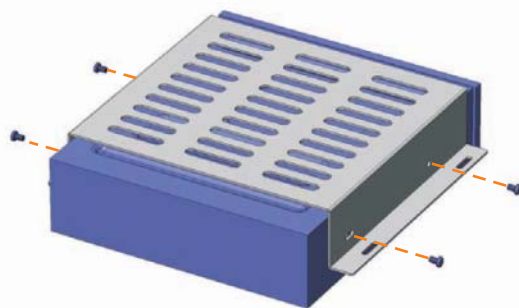
## VGAループケーブルの接続

下図を参照しお持ちのグラフィックスカードもしくはマザーボード上のVGAコネクタと、上記の作業で固定したVGAコネクタブラケットを接続して下さい。当製品に付属の12.1インチ液晶ディスプレイを使用される際には必ず必要な接続となります。外部のディスプレイを使用される際はこの作業は不要です。



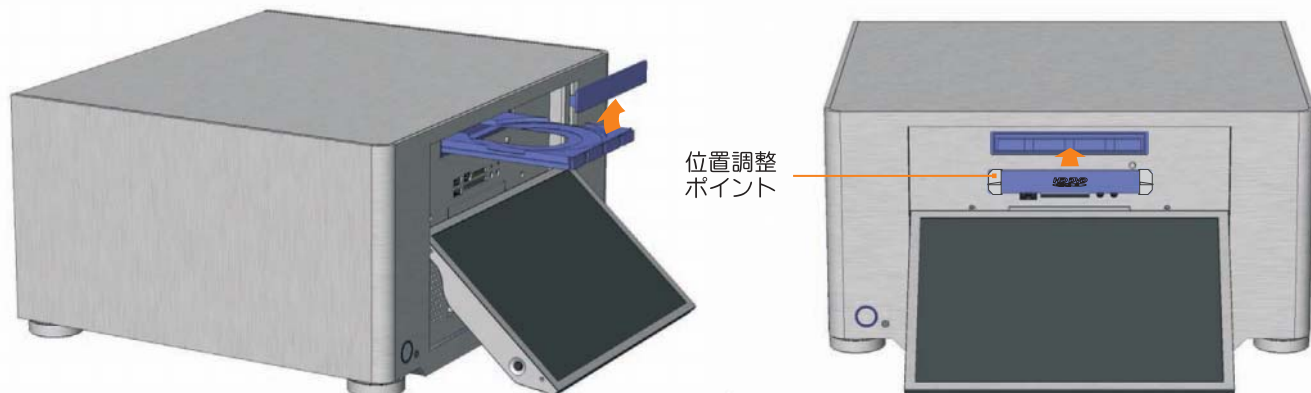
## 光学ドライブの取付け方法

下図を参照し光学ドライブ用ケースを取り外してからお持ちの光学ドライブを固定して下さい。本製品の光学ドライブ用トレイ開閉ボタン（イジェクトボタン）とお持ちの光学ドライブのイジェクトボタンの位置関係の調整にご注意下さい。



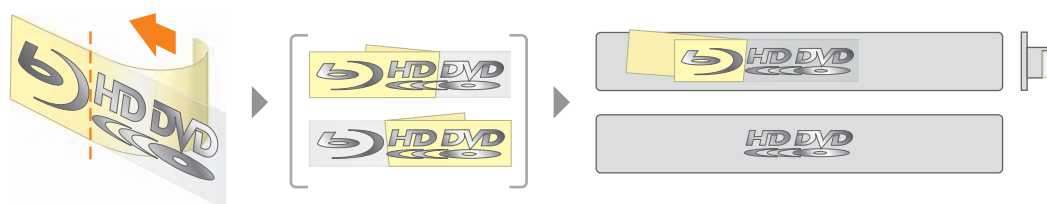
## 光学ドライブ用ベゼルの取付について

お持ちの光学ドライブによっては当製品付属のアルミ製光学ドライブ用ベゼルに付け替えが可能です。お持ちの光学ドライブ標準の樹脂製ベゼルを外し（外し方はメーカーにより様々な方法があります）本筐体との位置調整を慎重に行った上で付け替えて下さい。但し、このベゼルの付け替え行為は光学ドライブメーカーの推奨外の使用方法になるため、ドライブメーカーの保証が受けられなくなりますのでご注意下さい。



## 光学ドライブ用ベゼルにステッカーを貼る

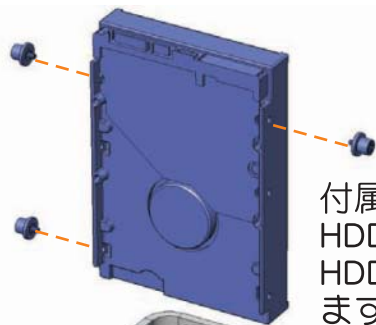
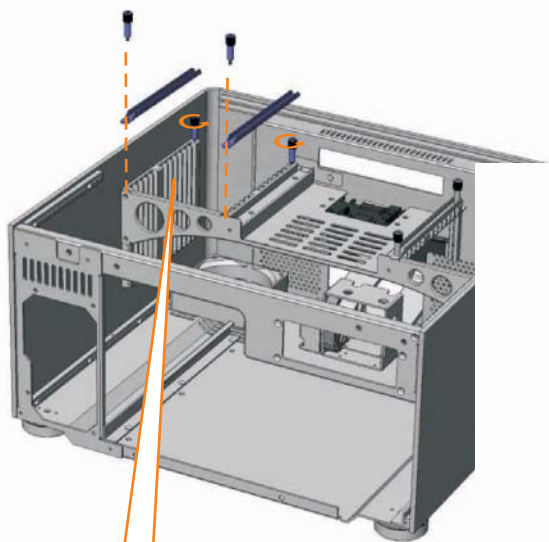
上記のアルミ製光学ドライブ用ベゼルにお好みで付属のステッカーを貼って下さい。



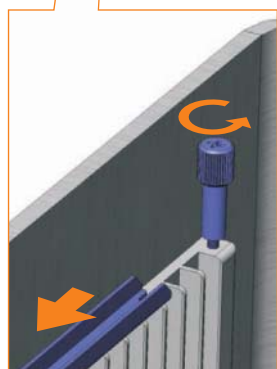
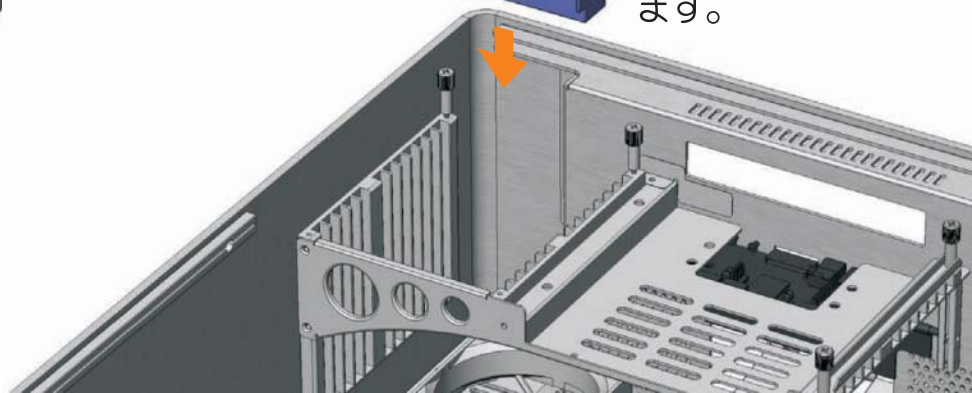
## ハードディスクドライブ(HDD)の取付け方法

下図を参照しHDD固定ガイドを外し、お持ちのHDDに当製品に付属の防振ラバー付きHDD用インチネジを取り付けます。

次に下図のようにHDDのコネクタ側が上にくるよう、またHDDのラベル面が本筐体の前面に向くようにHDDのガイドレールに真っ直ぐ挿入します。



付属の防振ラバー付きHDD用インチネジをHDDに4つ取り付けます。

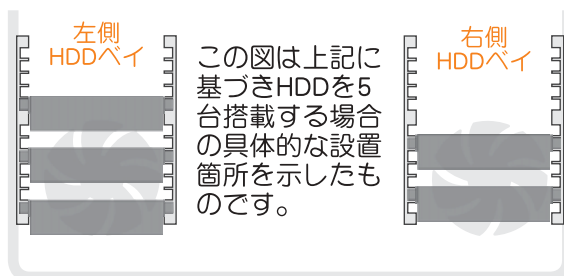
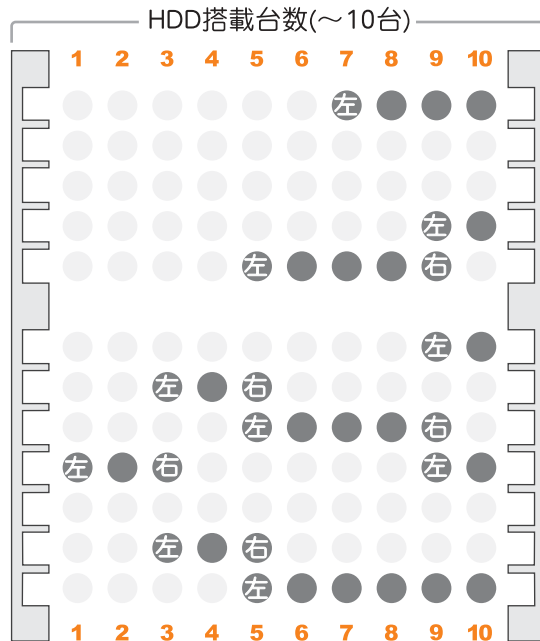


## ハードディスクドライブ(HDD)の搭載に関する設定

当製品には最大で10台のHDDが搭載可能です。1~10台までそれぞれの台数のHDDを搭載する際の、メーカー推奨の搭載場所を右図に示します。このメーカー推奨は、本筐体のエアフロー、発熱等の問題を考慮した上で最適と判断した基本形となりますが、必ずしもこの推奨に準拠しなければならないというものではありません。

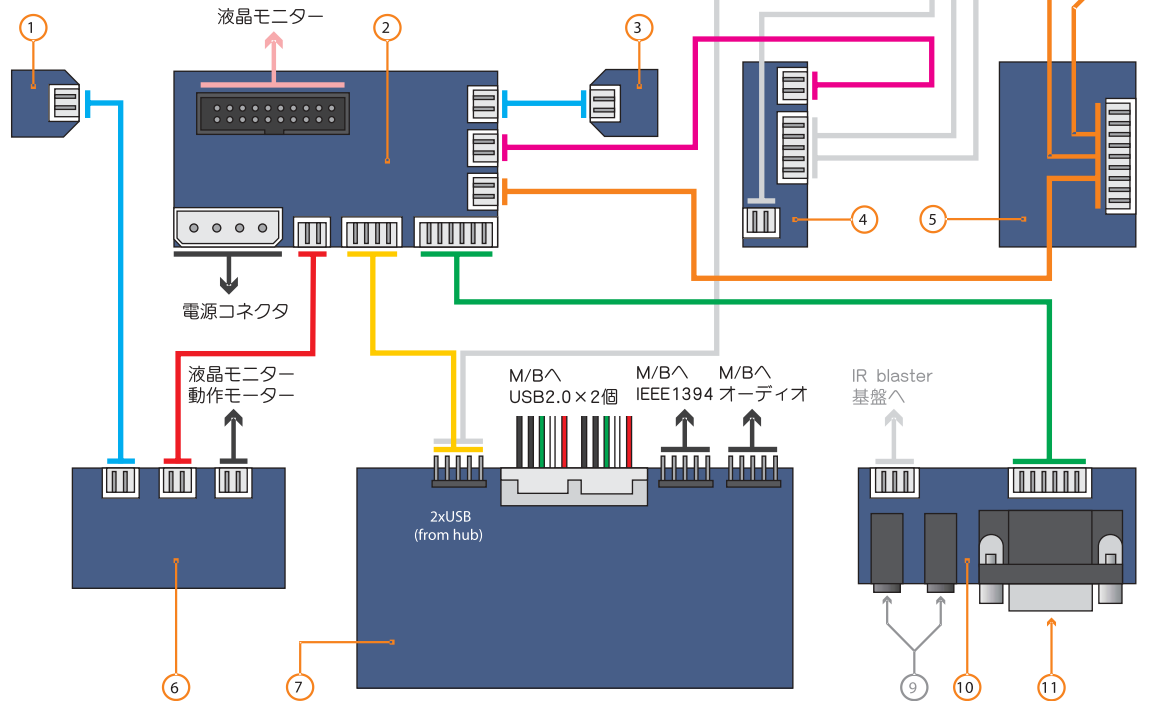
### ※図の見方

- 右側HDDベイのみに搭載します。
- 左側HDDベイのみに搭載します。
- 左右両方のHDDベイに搭載します。

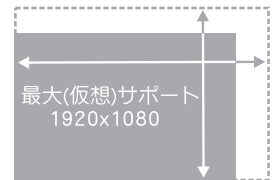


# PCBモジュールのリファレンスダイアグラム

1. 液晶モニター開閉ボタン部基盤
2. 当製品コネクタハブ基盤
3. 液晶モニター電源ボタン
4. IRモジュール基盤
5. メイン電源ボタン基盤
6. 液晶モニター動作モーター基盤
7. I/Oコネクタ基盤
8. マイクロソフト IR blaster基盤
9. IR blaster用出力コネクタ(付属のIRセンサーを接続)
10. VGAコネクタブラケット基盤
11. VGA入力コネクタ



## 液晶モニターの仕様とメニュー操作



液晶モニターをスライドさせた後（スライド方法は後述）、必要に応じてモニター設定メニューを開き、各種設定を行って下さい。

明るさ・コントラスト調整など合計8種類の設定項目とユーザー自身による任意設定を出荷時状態に戻すリセット機能が搭載されてます。

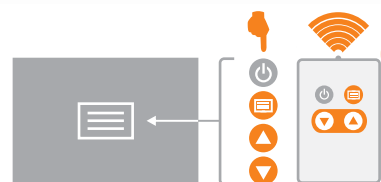
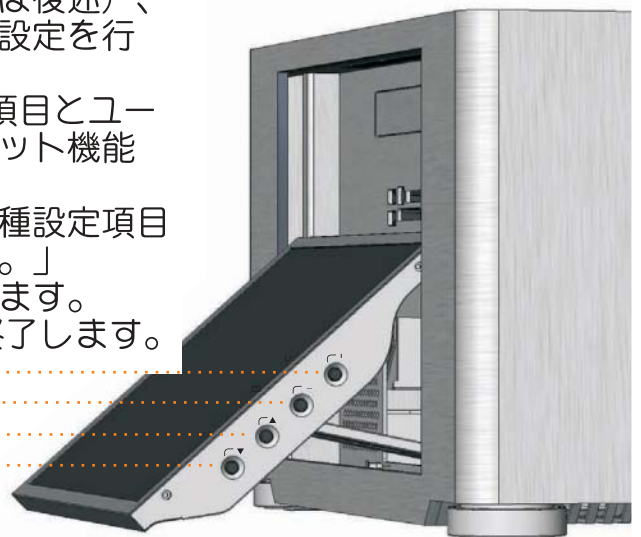
■ボタンで設定メニューに入り、▲▼ボタンで各種設定項目の選択や設定量の調整を行います（詳細は後述）。

メニューの終了はメニュー内の「EXIT」を選択します。

また、10秒間操作が無いと設定メニューは自動終了します。

- ⏻ モニター電源ボタン
- ☰ 設定メニュー/メニュー内選択ボタン
- ▲ 設定量アップボタン
- ▼ 設定量ダウンボタン

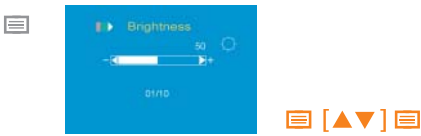
1. ⚙ BRIGHTNESS (明るさ) - 画面の明るさ調整
2. ⦿ CONTRAST (コントラスト) - 画面のコントラスト (輝度比) の調整
3. ⚙ PHASE (フェーズ) - 画面のノイズ (粗さ) 調整
4. ⌚ CLOCK (クロック) - モニターの周波数設定
5. 📏 H POSITION (水平位置) - 画面の水平位置の調整
6. 📏 V POSITION (垂直位置) - 画面の垂直位置の調整
7. 🗣 LANGUAGE (言語) - 言語選択 (出荷時は英語)
8. ⚙ AUTO (自動設定) - 全項目を自動設定します
9. 🔄 RESET (リセット) - 設定を出荷時の状態に戻します
10. 🚪 EXIT (終了) - 画面設定メニューを終了します



※上記の付属のリモコンでも同様の操作が可能です。

# モニター設定メニューの解説

## BRIGHTNESS (明るさ)



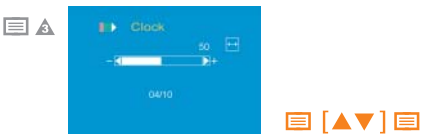
## CONTRAST (コントラスト)



## PHASE(フェーズ)



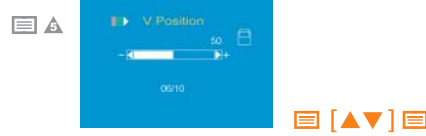
## CLOCK (クロック)



## H POSITION (水平位置)



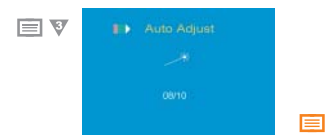
## V POSITION (垂直位置)



## LANGUAGE (言語: 出荷時は英語)



## AUTO (全項目自動設定)



## RESET (リセット)



## EXIT (終了)



### 設定方法について

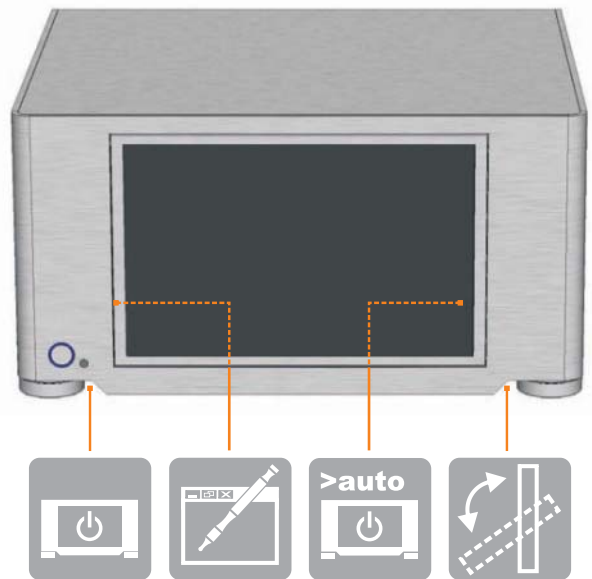
- グレーで表示されたボタンは各設定項目へのアクセス方法となります。  
例: 「PHASE」へのアクセス方法は [Menu] を1回押し、▲を2回押しします。  
▲▼記号の中の記載の数字は、そのボタンを押す回数を表します。
- オレンジで表示されたボタンは各設定項目内での設定量の増減方法となります。  
目的の設定項目で [Menu] を1回押し、▲▼で設定量を決め、[Menu] を押し事で設定終了となります。

## モニター用各ボタンの解説



## 液晶モニター用ボタンおよびタッチペン 収納スペースについて以下に解説します。

- モニター電源on/offボタン  
モニター本体の右側面についてる電源ボタンと同じ役割となります。
- モニター用タッチペン収納スペース  
タッチペンをここに収納します。取り出す時はタッチペンの頭を一度押ししてロックを外してから引き抜きます。
- 自動電源onスイッチ  
モニター本体の裏面右側にあります。on設定にすると、モニターの電源が本ケース本体の電源on/offに連動するようになります。
- モニター開閉ボタン  
モニター本体を開閉させる事で光学ドライブや内蔵カードリーダーへのアクセスを可能にします。





## カードリーダーおよびI/Oパネルについて



### 対応メディア

コンパクトフラッシュTYPE1  
コンパクトフラッシュTYPE2  
コンパクトフラッシュTYPE2-HDD

マイクロドライブ/スマートメディア

SDカード/ミニSDカード\*1/マイクロSDカード\*1  
MMC/RS-MMC\*2

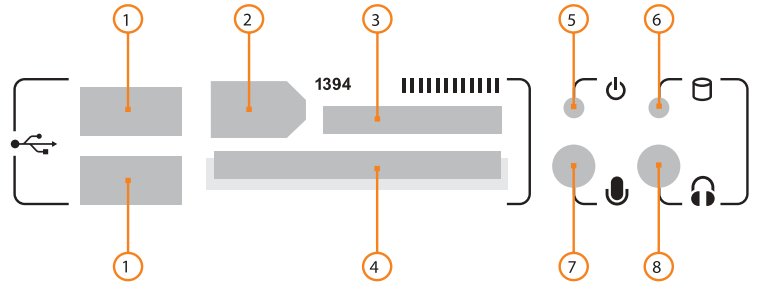
メモリスティック/メモリスティックDuo\*3  
メモリスティックPRO/メモリスティックPRO Duo\*3

\*1 SDカードアダプターを使用して下さい。

\*2 MMCアダプターを使用して下さい。

\*3 メモリスティックアダプターを使用して下さい。

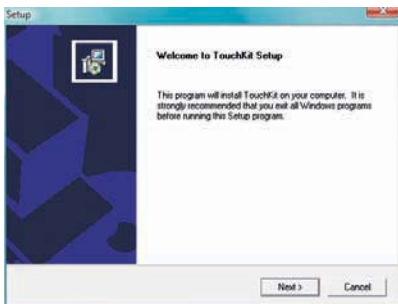
1. USB2.0ポート (2個)
2. IEEE1394ポート
3. SD・メモリスティック他カードリーダー口
4. CF・マイクロドライブリーダー口
5. カードリーダー部パワーランプ (LED)
6. カードリーダー部アクセスランプ (LED)
7. オーディオ入力コネクタ (3.5mmジャック)
8. オーディオ出力コネクタ (3.5mmジャック)



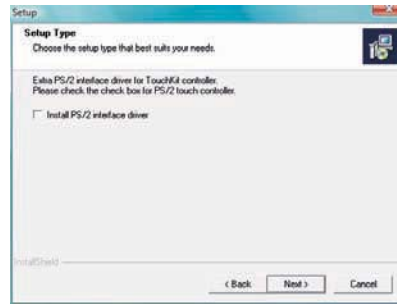
## タッチパネルソフトウェアのインストール

タッチパネル機能を使用される場合は弊社サポートホームページよりダウンロードした「TouchKit」ソフトウェアをインストールします。

※サポートソフトウェアホームページ <http://www.scythe.co.jp/download.html>



付属ソフトの「setup.exe」をダブルクリックするとインストール作業が開始されます。上図の画面で「Next」ボタンをクリックして下さい。



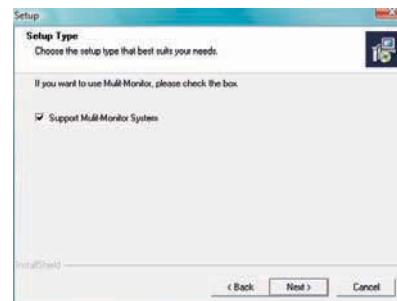
「Install PS/2 interface driver」をチェックせずにそのまま「Next」ボタンをクリックして下さい。



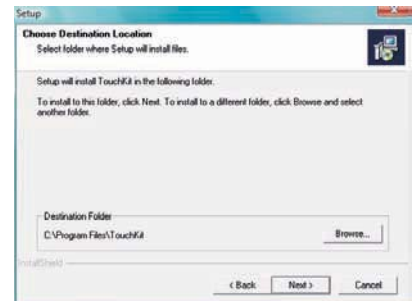
「None」を選択の上「Next」ボタンをクリックして下さい。



上図のようにケーブル接続に関する警告が出ますが、タッチパネルの接続関係は予め完了しておりますのでそのまま「OK」をクリックして下さい。

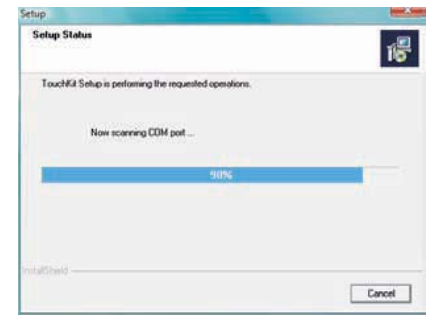
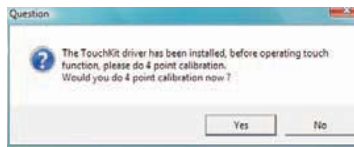
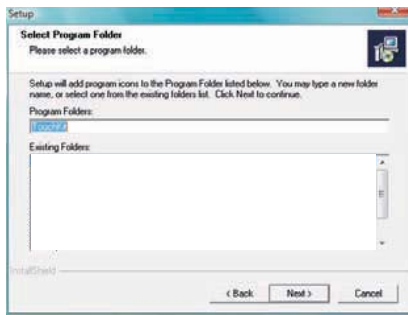


複数のモニターを使用される場合は「Support Multi-Monitor System」を選択の上「Next」ボタンをクリックして下さい。



本ソフトウェアをハードディスクのどのフォルダにインストールするかをユーザー任意で選択可能です。通常はそのまま「Next」ボタンをクリックします。別途フォルダ作成をする場合は「Browse」ボタンをクリックし、任意の場所に任意の名前のフォルダを作成して下さい。

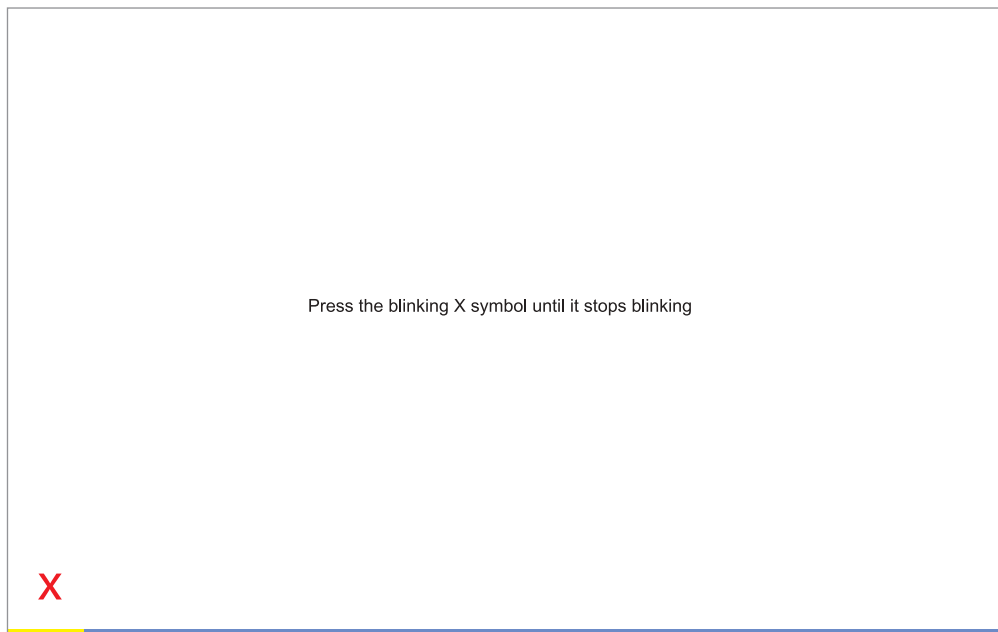
# タッチパネルソフトウェアのインストール



フォルダ名は日本語でも設定可能です。  
(もちろんそのままでも構いません)  
”Next” ボタンをクリックして下さい。

タッチパネルのテストを今すぐに行うか？という質問が上図のように現れますので動作確認のために”Yes” ボタンをクリックして下さい。  
動作確認が不要な場合は”No” ボタンをクリックするとインストール作業が終了します。

前の作業で”Yes” を選択すると、ソフトウェアプログラムがタッチパネルを自動でスキャンします。



タッチパネルが検出されると上図のようにXマークが点滅しますので、付属のタッチペンでマークの点滅が消えるまで触れて下さい。Xマークは合計4つほど現れますのですべて同じようにタッチペンで触れて下さい。  
全てのXマークを消すとインストール作業は終了となります。